

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月29日

上場会社名 日本電産サーボ株式会社
コード番号 6585 URL <http://www.nidec-servo.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 卓也
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 坂本 博
四半期報告書提出予定日 平成21年2月9日

上場取引所 東

TEL 0277-53-8817

(百万円未満四捨五入)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	20,915	△19.0	1,242	13.1	1,373	32.9	880	△10.6
20年3月期第3四半期	25,812	7.2	1,098	—	1,033	—	984	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	24.76	—	—	—
20年3月期第3四半期	27.65	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円		円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	18,859	8,296	8,296	44.0	233.49	—	
20年3月期	19,549	8,303	8,303	42.5	233.54	—	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 8,296百万円 20年3月期 8,303百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					年間
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
20年3月期	—	—	—	5.00	—	5.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	—	10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	△28.7	850	△58.6	850	△52.5	650	△60.7	18.29

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 有
(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他 をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	35,691,838株	20年3月期	35,691,838株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	161,293株	20年3月期	138,440株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	35,541,055株	20年3月期第3四半期	35,581,783株

連結業績の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、長期化する米国経済の低迷により、金融不安と世界景気の減速を招き、景気の先行きが不透明な状況が続いております。

このような経営環境下、日本電産グループコーポレート・スローガンである「All for dreams」を旗印に、日本電産サーボ全グループ社員が一丸となって「夢を形にする社員集団」となり、常に「挑戦と成長と強さ」を追求することとし、企業価値の向上の為にも企業業績の改善に努めて参りました。この結果、売上高は上述の影響もあり前年同期比48億9千7百万円減の209億1千5百万円となりましたが、営業利益は、生産性向上、固定費削減、原価低減やワークシェアリングに注力し、活動したことなどにより前年同期比で1億4千4百万円増の12億4千2百万円と改善する事が出来ました。売上高半減等の状況においても黒字化できる体質作りを実施しており、更に引き続き筋肉質体制の構築に取り組んで参ります。

また、平成20年10月1日をもって、社名を「日本電産サーボ株式会社」に変更し、名実ともに日本電産グループの一員として再スタートをいたしました。

〔事業の種類別セグメント実績〕

(モータ)

当社グループのモータ事業の売上高は上述の影響により前年同期比37億1千7百万円減の178億8千1百万円となりました。営業利益は、前年同期比2億7千万円増の21億5千6百万円となりました。これは、生産性向上、固定費削減、原価低減やワークシェアリングの活動を行ったことなどによるものであります。引続き独自開発の精密ステップモータや高信頼性ファンモータ等の新製品を投入し積極的な拡大を図って参ります。

(モータ応用製品)

当社グループのモータ応用製品事業の売上高は前年同期比11億8千万円減の30億3千4百万円となりました。これは、米国市場でのアイスメーカー等が減少したことによるものであります。営業利益は、前年同期比2億1千9百万円減少の3千3百万円となりました。この分野も更なる新製品の投入と新顧客の開拓を強力に推進する予定であります。

尚、上記前年同期の金額につきましては、参考のために記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

連結貸借対照表の変動で、前連結会計年度末に比べ総資産の減少は、売上高減少に伴う売掛金の減少等によるものであります。また、負債・純資産の部の減少は、前述の売上高減少に伴う買掛金の減少等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の連結業績予想につきましては、平成20年12月19日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
影響額が僅少な項目につき、一部簡便的処理を用いております。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

リース取引に関する会計基準の適用

「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、リース資産が固定資産に231百万円計上されております。なお、これに伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用

「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を当連結会計年度から適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

なお、これに伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当連結会計年度から適用し、評価基準については、低価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

なお、これに伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,754	2,467
受取手形及び売掛金	6,157	7,333
有価証券	—	50
製品	2,286	1,902
仕掛品	682	661
原材料	671	637
繰延税金資産	308	385
未収入金	167	150
立替消費税	114	—
その他	87	99
貸倒引当金	△69	△79
流動資産合計	12,157	13,605
固定資産		
有形固定資産	6,333	5,406
無形固定資産	126	133
投資その他の資産	243	405
固定資産合計	6,702	5,944
資産合計	18,859	19,549
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,423	4,497
短期借入金	2,462	2,004
未払金	885	622
未払法人税等	284	81
未払費用	731	875
製品保証引当金	73	53
その他	205	551
流動負債合計	8,063	8,683
固定負債		
繰延税金負債	198	196
退職給付引当金	1,964	2,059
役員退職慰労引当金	—	5
負ののれん	—	22
その他	338	281
固定負債合計	2,500	2,563
負債合計	10,563	11,246
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,547	2,547
資本剰余金	3,614	3,614
利益剰余金	3,002	2,478
自己株式	△85	△67
株主資本合計	9,078	8,572
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17	30
為替換算調整勘定	△799	△299
評価・換算差額等合計	△782	△269
純資産合計	8,296	8,303
負債純資産合計	18,859	19,549

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	20,915
売上原価	16,082
売上総利益	4,833
販売費及び一般管理費	3,591
営業利益	1,242
営業外収益	
受取利息	12
受取配当金	7
為替差益	164
材料作業屑処分益	74
負ののれん償却額	22
その他	59
営業外収益合計	338
営業外費用	
支払利息	58
固定資産処分損	4
たな卸資産処分損	85
売上割引	18
その他	42
営業外費用合計	207
経常利益	1,373
特別利益	
特別利益合計	—
特別損失	
事業構造改善費用	23
減損損失	21
その他	5
特別損失合計	49
税金等調整前四半期純利益	1,324
法人税、住民税及び事業税	315
法人税等調整額	129
法人税等合計	444
四半期純利益	880

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
売上高	5,441
売上原価	4,299
売上総利益	1,142
販売費及び一般管理費	1,125
営業利益	17
営業外収益	
受取利息	4
受取配当金	4
為替差益	56
材料作業屑処分益	11
その他	12
営業外収益合計	87
営業外費用	
支払利息	19
売上割引	5
たな卸資産評価損	10
その他	14
営業外費用合計	48
経常利益	56
特別利益	
特別利益合計	—
特別損失	
減損損失	4
投資有価証券評価損	4
特別損失合計	8
税金等調整前四半期純利益	48
法人税、住民税及び事業税	88
法人税等調整額	87
法人税等合計	175
四半期純利益	△127

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,324
減価償却費	727
減損損失	21
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△95
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△5
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	20
固定資産処分損益 (△は益)	4
為替差損益 (△は益)	△177
受取利息及び受取配当金	△19
支払利息	58
売上債権の増減額 (△は増加)	907
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△472
仕入債務の増減額 (△は減少)	△909
その他	△162
小計	1,212
利息及び配当金の受取額	19
利息の支払額	△58
法人税等の支払額	△81
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,092
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,720
有形及び無形固定資産の売却による収入	7
投資有価証券の取得による支出	△10
投資有価証券の売却による収入	15
その他	△189
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,897
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	691
割賦債務の返済による支出	△166
自己株式の取得による支出	△18
配当金の支払額	△356
財務活動によるキャッシュ・フロー	151
現金及び現金同等物に係る換算差額	△117
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△771
現金及び現金同等物の期首残高	2,525
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,754

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	モータ		計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
	モータ (百万円)	応用製品 (百万円)			
I 売上高及び営業損益					
1 売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	17,881	3,034	20,915	—	20,915
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	17,881	3,034	20,915	—	20,915
2 営業費用	15,725	3,001	18,726	947	19,673
営業利益	2,156	33	2,189	(947)	1,242

- (注) 1 事業区分の方法…製品の類似性に照らして事業区分を行っております。
2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
モータ	ACサーボモータ、DCサーボモータ、シンクロナスモータ、インダクションモータ、DCモータ、ブラシレスDCモータ、ステッピングモータ、ファン、ポンプ、センサ等
モータ応用製品	モータ機構製品、医療関連製品、住宅関連製品等

3 営業費用の配賦方法の変更

前連結会計年度まで、提出会社の研究開発に係る費用は配賦不能営業費用として消去又は全社の項目に含めておりましたが、当連結会計年度から各セグメントへ配賦計算を行う方法に変更いたしました。この変更は、各セグメントの損益実態をより的確に把握することを目的といたしております。この変更による営業利益の影響は軽微であります。

4 会計処理の方法の変更

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、「リース取引に関する会計基準」「棚卸資産の評価に関する会計基準」を適用しております。

なお、これに伴う営業利益に与える影響は軽微であります。

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

	モータ		計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
	モータ (百万円)	応用製品 (百万円)			
I 売上高及び営業損益					
1 売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	21,598	4,214	25,812	—	25,812
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	21,598	4,214	25,812	—	25,812
2 営業費用	19,712	3,962	23,674	1,040	24,714
営業利益	1,886	252	2,138	(1,040)	1,098

当第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）

	モータ		計	消去又は全社	連結
	モータ	応用製品			
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)
I 売上高及び営業損益					
1 売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,669	772	5,441	—	5,441
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,669	772	5,441	—	5,441
2 営業費用	4,359	798	5,157	267	5,424
営業利益又は営業損失(△)	310	△ 26	284	(267)	17

前第3四半期連結会計期間（自平成19年10月1日至平成19年12月31日）

	モータ		計	消去又は全社	連結
	モータ	応用製品			
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)
I 売上高及び営業損益					
1 売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,107	1,214	8,321	—	8,321
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,107	1,214	8,321	—	8,321
2 営業費用	6,116	1,159	7,275	373	7,648
営業利益	991	55	1,046	(373)	673

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	17,351	3,564	—	20,915	—	20,915
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,406	12,057	240	14,703	(14,703)	—
計	19,757	15,621	240	35,618	(14,703)	20,915
営業費用	19,374	13,845	186	33,405	(13,732)	19,673
営業利益	383	1,776	54	2,213	(971)	1,242

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 日本以外の区分に属する主な国又は地域

アジア・・・中国、シンガポール、インドネシア

その他・・・アメリカ

3 営業費用のうち「消去又は全社」の項目に含めた配賦不能営業費用の主な内容は、「事業の種類別セグメント情報」の「注3」と同一であります。

4 会計処理の方法の変更

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、「リース取引に関する会計基準」「棚卸資産の評価に関する会計基準」を適用しております。

なお、これに伴う営業利益に与える影響は軽微であります。

前第3四半期連結累計期間（自平成19年4月1日至平成19年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	22,210	3,602	—	25,812	—	25,812
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,362	14,068	191	16,621	(16,621)	—
計	24,572	17,670	191	42,433	(16,621)	25,812
営業費用	23,542	16,585	168	40,295	(15,581)	24,714
営業利益	1,030	1,085	23	2,138	(1,040)	1,098

当第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,423	1,018	—	5,441	—	5,441
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	683	2,660	71	3,414	(3,414)	—
計	5,106	3,678	71	8,855	(3,414)	5,441
営業費用	5,165	3,400	58	8,623	(3,199)	5,424
営業利益又は 営業損失(△)	△ 59	278	13	232	(215)	17

前第3四半期連結会計期間（自平成19年10月1日 至平成19年12月31日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	7,046	1,275	—	8,321	—	8,321
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	863	4,337	58	5,258	(5,258)	—
計	7,909	5,612	58	13,579	(5,258)	8,321
営業費用	7,367	5,163	50	12,580	(4,932)	7,648
営業利益	542	449	8	999	(326)	673

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	2,646	6,310	2,021	10,977
II 連結売上高(百万円)				20,915
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.6	30.2	9.7	52.5

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1)北米・・・・・・・・アメリカ、カナダ

(2)アジア・・・・・・・・中国、シンガポール、インドネシア、韓国、台湾

(3)その他の地域・・・・・・・・EU諸国、メキシコ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	3,774	6,559	3,380	13,713
II 連結売上高(百万円)				25,812
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	14.6	25.4	13.1	53.1

当第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	700	1,580	525	2,805
II 連結売上高(百万円)				5,441
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.9	29.0	9.7	51.6

前第3四半期連結会計期間（自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日）

	北米	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	1,114	2,330	985	4,429
II 連結売上高(百万円)				8,321
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.4	28.0	11.8	53.2

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

(要約) 前四半期連結損益計算書

		前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
区分	注記 番号	金額(百万円)
売上高		25,812
売上原価		21,167
売上総利益		4,645
販売費及び一般管理費		3,547
営業利益		1,098
営業外収益		
受取利息		36
受取配当金		7
負ののれん償却額		33
材料作業屑処分益		101
その他		101
営業外収益合計		278
営業外費用		
支払利息		186
為替差損		63
固定資産売却処分損		35
その他		59
営業外費用合計		343
経常利益		1,033
特別利益		
投資有価証券売却益		99
その他特別利益		17
特別利益合計		116
特別損失		
減損損失		22
特別損失合計		22
税金等調整前四半期純利益		1,127
法人税、住民税及び事業税		68
法人税等調整額		75
法人税等合計		143
四半期純利益		984

(要約) 前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

		前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年 4月 1日 至 平成19年12月31日)
区分	注記 番号	金額(百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益		1,127
減価償却費		931
減損損失		22
貸倒引当金の増減額(△は減少)		△ 5
退職給付引当金の増減額(△は減少)		△ 82
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)		△ 224
製品保証引当金の増減額(△は減少)		19
固定資産処分損益(△は益)		35
為替差損益(△は益)		△ 117
受取利息及び受取配当金		△ 43
支払利息		186
売上債権の増減額(△は増加)		163
たな卸資産の増減額(△は増加)		1,590
仕入債務の増減額(△は減少)		△ 399
その他		△ 125
小計		3,078
利息及び配当金の受取額		43
利息の支払額		△ 186
法人税等の支払額		△ 75
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,860
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出		△ 763
有形及び無形固定資産の売却による収入		8
投資有価証券の売却による収入		140
その他		4
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 611
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)		△ 1,724
割賦未払金の増加額		39
割賦未払金の支払額		△ 192
自己株式の純増減額(△は増加)		△ 37
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,914
現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 51
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		284
現金及び現金同等物の期首残高		2,519
現金及び現金同等物の四半期末残高		2,803

平成21年 3月期（第74期）第3四半期連結決算概要

1. 連結業績の状況

	当第3四半期 (累計) 自平成20年4月1日 至平成20年12月31日	前年 同期 増減率	前第3四半期 (累計) 自平成19年4月1日 至平成19年12月31日	当第3四半期 自平成20年10月1日 至平成20年12月31日	前年 同期 増減率	前第3四半期 自平成19年10月1日 至平成19年12月31日
売上高	百万円 20,915	% △ 19.0	百万円 25,812	百万円 5,441	% △ 34.6	百万円 8,321
営業利益	1,242 (5.9%)	13.1	1,098 (4.3%)	17 (0.3%)	△ 97.5	673 (8.1%)
経常利益	1,373 (6.6%)	32.9	1,033 (4.0%)	56 (1.0%)	△ 91.2	634 (7.6%)
四半期純利益	880 (4.2%)	△ 10.6	984 (3.8%)	△127 (△2.3%)	—	627 (7.5%)
一株当たり 四半期純利益	円 銭 24.76	—	円 銭 27.65	円 銭 △3.57	—	円 銭 17.62
潜在株調整後 一株当たり 四半期純利益	—	—	—	—	—	—

※ () 内は、対売上高比率

2. 連結財政状態

	当第3四半期末	前第3四半期末	前年度末
総資産	百万円 18,859	百万円 20,725	百万円 19,549
純資産	8,296	7,863	8,303
自己資本比率	% 44.0	% 37.9	% 42.5
1株当たり 純資産	円 銭 233.49	円 銭 221.12	円 銭 233.54
	当第3四半期(累計)	前第3四半期(累計)	前年度
営業活動による キャッシュ・フロー	百万円 1,092	百万円 2,860	百万円 4,422
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,897	△ 611	△ 1,167
財務活動による キャッシュ・フロー	151	△ 1,914	△ 2,976
現金及び現金同等物 期末残高	1,754	2,803	2,525

3. 配当の状況

	第2四半期末	期 末	年 間
20年3月期	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 5.00
21年3月期	5.00	—	—
21年3月期(予想)	—	5.00	10.00

※ 連結対象会社 9社 持分法適用会社 1社